

YAMAHA 2015 SPORT BOAT 242 Limited S & AR192



取材協力:ヤマハ発動機株式会社 国内営業部 中部販売課 TEL:0533-66-3421 URL:<http://www.yamaha-motor.co.jp/marine/>



新型ハルと可動式キールを新たに装備!!

YAMAHA 242 Limited S

全長:7.30m 全幅:2.60m 完成質量:1,684kg
 搭載エンジン:1,812cc High Output Engine×2
 エンジンタイプ:4ストローク/4気筒
 搭載馬力:180ps×2 燃料タンク容量:189L
 定員:11名 航行区域:限定沿海

本体価格:9,500,000円(税抜)



パウデッキには広めのパウシートがあり、両サイドのシート下には収納スペースが確保されている。パウラダーも付いており、水上へのアクセスもスムーズに出る。



コックピットには多機能なディスプレイが搭載されており、タッチ画面と専用ジョイスティックで操作が可能。また、シートは座り易く体をしっかりホールドしてくれる。



左舷大型ストレージは高さも確保され、収納の幅も広がる。また、デッキ面積も広く仲間とツーリングへ出掛けても、それぞれが余裕を持ってシートで寛げそうだ。



スイミングプラットフォームは想像以上に広くて、安心してトローリングの準備や仲間との会話が楽しめそうだ。また、収納スペースやオーディオも完備されている。

ジェット推進システムが生み出す爽快感溢れる走行性能と俊敏なコーナーリングが楽しめるヤマハスポーツボートシリーズはクルージング、トローリング、ツーリングといったシーンで近年多くのユーザーから高い支持を集めている人気ラインナップだ。そんな中でもフラッグシップモデルとして今年進化を遂げた『242 Limited S』、そして19フィートを感じさせない高いクオリティのパフォーマンスを発揮する『AR192』をご紹介します。2艇共に注目したい部分を上げたらキリが無いのだが、まずは『242 Limited S』の方からご紹介していこう。新型ハルと可動式キールを新たに装備した事で直線安定性が向上し、更にはハンドリングや低速時の舵効きも良くなっている。エンジンは180ps×2基掛けでステアリングを握る手からはボートを操る楽しさがとことん味わえそうだ。また、旋回時にくっつく切れ味良く曲がる乗り味も特徴的で、広い水面を思いのままに走るだけで、このボートの魅力

というのは十分体感してもらえるだろう。デッキ内に入ると横幅の広さはもちろん、機能的なレイアウトは自分の遊び方に応じて様々なスタイルに対応してくれる。パウに目を向けると、パウシートは足を伸ばしてゆったりと寛げ、スピーカーから流れる心地良い音楽と風を感じる事が出来る。コックピットにはマルチファンクションディスプレイを採用しており、タッチ画面と専用ジョイスティックで様々な情報を効率的に得る事も可能だ。そして、スイミングプラットフォーム内にはバックレスト付きシートやシャワー、更にはオーディオも付いており、ここでボートの雰囲気コントロールしながら水上で仲間との会話も楽しむ事が出来る。また、フラットなトローリングのレクチャーもストレス無く受ける事が出来る。このボートはヤマハスポーツボートのフラッグシップモデルとして今後も高いパフォーマンスで多くのユーザー達を満足させてくれる事だろう。続いて『AR192』をご紹介します。続いて『AR192』をご紹介します。



YAMAHA AR192
 全長:5.80m 全幅:2.44m 完成質量:987kg
 搭載エンジン:1,812cc Super High Output Engine
 エンジンタイプ:4ストローク/4気筒
 搭載馬力:210ps 燃料タンク容量:114L
 定員:8名 航行区域:限定沿海
本体価格: 5,500,000円 (税抜)



このボートは効率的で非常にスマートにマリンプレイを楽しめる1艇だ。コンパクトだが狭さを感じない船内レイアウトはクルージングをしても十分楽しむ事が出来るだろうし、仲間とのツーリングでは気持ち良い加速感と機敏な動きでゲストを飽かささせる事は無いだろう。エンジンは210psの1基掛けで、あっと驚く爽快なパフォーマンスは同船者にもボートの楽しさを伝えてくれるだろう。また、このクラスでは充分な広さのスィミングプラットフォームも装備されているため、トーイングのシーンでは安心してボードの装着や遊び方のレクチャーも出来るだろう。更には、『242Limited S』と同様に徐行の必要なエリアでの安定した低速走行をサポートしてくれるノーウェイクモードや長時間のクルージング時にスロットルの調整をせずとも一定の回転数で走行をサポートしてくれるクルーズアシストシステムも搭載されており、操船者の負担も軽減してくれる。これがあれば水路やマリーナ内でも安心し

て自分の行きたい方向へ正確に行く事が出来そうだ。走行面の他にはデッキのレイアウトはパウの両サイドにヘッドレスト付きのパウシート、デッキ内のシートはどれも座り心地良くボートの幅もしっかりと確保されている。更に、Bluetooth対応のオーディオもあるため、音楽を聞きながら水面に浮かんでいるだけでも楽しめそうだ。ヤマハスポーツボートのジェット推進システムはインペラをハルの内側に採用しており、トランサム突起が少ない分、スィミングプラットフォームを水面近くに設置する事が出来る。これにより仲間と座って足を水につけながら会話を楽しむ事も可能だ。心の底から走る事を楽しませてくれる走行性能とスタイルにあった使い方が出来るデッキレイアウト、この2つが高いレベルで実現されたヤマハの2015年度スポーツボートラインナップ。今後も各地で大きな注目を浴びる事は間違いなく、是非試乗会や展示会の際にはご自身の目で見て頂きたいと思う1艇だ。



19フィートとコンパクトながら、乗っていて狭さを感じない。ウェイクゲートにはオーニングも取付可能で、直射日光を回避しながらマリンプレイを楽しめる。

パウシートも座り心地が良く、収納も広い。ヘッドレストもあり、寛ぎながらクルージングを楽しめる。スピーカーも搭載され、好きな音楽で気分良く走る事が出来る。

コックピットはコンパクトで効率的な配置で自分の見たい箇所がスムーズに確認出来る。ダッシュボックス内にはBluetooth対応のオーディオも完備している。

デッキ内には有効スペースが多く、様々な遊びにも十分対応してくれそうだ。スィミングプラットフォームも平で水面にも近いため、トーイングもし易そうだ。